

# 2018年7月29日 主日礼拝

司 会 ①梅津兄 ②宮川兄 ③岸兄

奏 楽

祈 禱 ①熊谷兄 ②鈴木進兄 ③石塚兄

賛 美 聖歌539番 「見ゆるところによらず」  
(花咲く野原のように) (主イエスをほめよ)

十 戒

聖 書 ① マタイによる福音書9章9～13節(P12)  
②③ マルコによる福音書1章15～20節(P51)

音 楽 ① 倉知契師  
②③ トリオ・ヘセド(ニューヨーク・三重奏)

証 詞 ① 福原三貴子姉(青年会)

メッセージ ① 「尚も進まれる神様」 原田恵己 補教師  
②③ 「福音の魅力を感じて」 坪井永城 副牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

大川従道牧師

「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ。」  
(マルコ一の十五)

## 【大和ニュース】

☆「トリオ・ヘセド」(千代崎姉、キムン姉、クワクー姉)を歓迎し、祝福します。

・ 本日、セキュリティ奉仕者会、J.Plus、責任役員会(13:30)。

\* 東京カルバリーは、午後5時から。独唱は原田姉、説教は大川牧師。  
苦戦しています。祈って下さい。中野区弥生町5の5の1(弥生公園隣り)。

\* 今週も祈禱会を大切に！ ①水曜夜 ②木曜朝 説教は大川牧師  
(聖餐式あり) ③金曜夜の説教は坪井副牧師

・ 昨日のゴスペルフェスティバルへのご協力を心から感謝します。

・ 8月3日(金)ユーオーディア・コンサート。18:30オペラシティにて。チケット有料。

・ 8月12日(日)の第三礼拝は「夏のゴスペル音楽礼拝」。スペシャルです！

## 石の枕

——神の選びと祝福 エレミヤ1:5—— 三畑元

1953年、福音十字軍により座間の伝道を開始。1957年借家に座間キリスト教会の看板を掲げ、初代牧師として下山牧師が任命されましたが、健康を害し、9月に辞任しその後、2名の牧師が任命されました。

1970年の引き継ぎの際、混乱が生じ、急遽米国で成功していた大川従道牧師が任命され、同年7月31日に帰国し、1961年に献堂された八百屋の裏の教会に着任されました。大川牧師帰国後の最初の礼拝出席者数は27名でした。大川牧師の座間教会着任を知った、旧知の人達が人を誘って教会に来るようになり、礼拝出席者数が上昇し、狭い礼拝堂が一杯で、三部礼拝をするまでになりました。10年間の受洗者数は243名です（潮干狩りのメッセーと求道者に対する細かい配慮）。そこで1980年12月銀行融資で、座間市天台に新会堂を献堂しました。

しかし駐車場の問題で移転を考えていた時、一人の信徒が大和市の土地を教会に捧げて下さいました。それが森チャペルです。入堂式は1992年4月、662名の出席者でした。大川牧師がアルゼンチンでフレーソン先生の按手の恵みを受け、帰国後信徒にも按手祈禱をして下さり、聖霊の恵みに与らせて頂き、礼拝出席者数も800名と成長し、礼拝堂の1階も2階もロビーも一杯になり、悩んでいた時に、泉チャペルの広い土地が売りに出されたのです。銀行融資を受け、その土地を得たその時に、神は医師の小泉兄を起こして下さい、泉チャペル建築の費用が与えられ、日本人牧師による千名教会が誕生したのです。

大川牧師は帰国以来、東京伝道に心を燃やし、初台においては470日連続の集会をしました。東京に教会堂をと、四十数年間祈り願っていた東京カルバリーチャペルが、この度中野区弥生町に誕生したのです。神様が、大川牧師と教会の熱い祈りに応えて下さったのです。ハレルヤ！日本のリバイバルのために主がどんな奇跡をして下さるか楽しみです。み名を崇めます。

この原稿は、東京カルバリーの献堂式記念誌のために書いていただいたものですが、諸々の都合で、失礼ながら、「石の枕」で発表させていただいております。三畑元長老様でなければ書けない内容もあり貴重な歴史的文章です。

私が就任してから毎週何回も顔を合せ、祈り、考え、伝道に力を合せて来ました。三畑兄の奥様美子さん共々、若い二十代の牧師夫婦を支え続けてくださいました。天に召されている三畑義雄ご夫妻も大喜びだと思います。栄光は主！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:使徒行伝28章~ローマ5章 Bコース:詩篇56篇~74篇